

(別添)

令和9年度静岡市公立学校教員採用選考試験第1次選考試験 筆記試験における設問不備とその対応について

(教職員課)

2026年5月9日(土曜日)に実施した令和9年度静岡市公立学校教員採用選考試験 第1次選考試験 筆記試験において、試験問題について確認したところ、3 教科において問題として不適切であることが判明しました。

1 小学校 選択教科「家庭」について

(1) 概要

2026年5月9日(土曜日)の試験終了間際に、受験者から試験問題について指摘があり、確認したところ、問題として不適切であることが判明しました。

(2) 当該教科及び問題等

| | |
|---|-------------------|
| 選択教科 | 令9 (小) 家庭 その1 / 2 |
| 1 「小学校学習指導要領解説 家庭編(平成29年7月)第2章」に示されている家庭科の目標及び内容について、以下の問いに答えなさい。 | |
| (2) 「A(4) 家族・家庭生活についての課題と実践」に関する記述として誤っているものを、次の①～⑤の中から一つ選んで番号で答えなさい。解答番号は93。 | |
| ① 実践的な活動を家庭や地域などで行うことができるよう配慮する。 | |
| ② 「A(2) 家庭生活と仕事」又は「A(3) 家族や地域の人々との関わり」、「B衣食住の生活」、「C消費生活・環境」で学習した内容と関連を図る。 | |
| ③ 1学年で一つ又は二つ以上の課題を設定して履修させる。 | |
| ④ 学校や地域での実践が難しい場合には、実践の場を学校に求める。 | |
| ⑤ 課題設定、計画、実践、評価・改善という一連の学習活動を重視する。 | |

小学校家庭その1 問題1(2)は、記述として誤っているものを1つ選ぶ問題で、正答は選択肢③としていましたが、選択肢④を「家庭や地域での実践が難しい場合は、実践の場を学校に求める」とすべきところを、「学校や地域での実践が難しい場合には、実践の場を学校に求める」と表記したため、文脈としてふさわしくない文章になっていました。

(3) 対象受験者の人数

129人

(4) 解答について

当該問題については、③または④を正解とします。

(別添)

2 中学校教科専門「理科」について

(1) 概要

2026年5月13日(水曜日)に、受験者から教員採用試験中学校理科の問題について、静岡県義務教育課宛にメールにて指摘がありました。受験者が調べたところ、2択のいずれも解答として正しいのではないかと思う問題があるので、確認してほしいという内容でした。確認したところ、問題として不適切であることが判明しました。

(2) 当該教科及び問題等

令9 (中)理科 その26/26

(3) 以下は、地球全体での大気の循環を理解した一郎さんと花子さんの会話である。文中の()に入る語句や数字の組み合わせとして適切なものを、次の①～⑧から一つ選んで、番号で答えなさい。解答番号は77。

一郎：私たちの住む日本は、大気の循環のおかげで、季節によってそれぞれ特徴的な天気になるね。
花子：そうだね。それに、温暖で、年間の降水量が多くて、豊富できれいな水を得ることができるんだね。
一郎：地球の表面の約(ア)は水でおおわれているけど、そのほとんどは海水で、陸上の生物が生きていくために必要な淡水・真水は約(イ)%になるんだね。
花子：しかも、そのほとんどは北極や南極、山間部にある水と、深いところにある地下水なんだ。
一郎：そうすると、人間が利用できる水は、湖沼や河川の水と、浅いところにある地下水で、その量は地球の水全体の約(ウ)%にすぎないんだね。
花子：その恩恵をもたらすものは、気象現象による降水や降雪だね。

- | | | | | | | |
|---|---|------|---|-----|---|------|
| ① | ア | 4分の3 | イ | 7.5 | ウ | 0.01 |
| ② | ア | 4分の3 | イ | 2.5 | ウ | 0.01 |
| ③ | ア | 4分の3 | イ | 7.5 | ウ | 0.10 |
| ④ | ア | 4分の3 | イ | 2.5 | ウ | 0.10 |
| ⑤ | ア | 3分の2 | イ | 7.5 | ウ | 0.01 |
| ⑥ | ア | 3分の2 | イ | 2.5 | ウ | 0.01 |
| ⑦ | ア | 3分の2 | イ | 7.5 | ウ | 0.10 |
| ⑧ | ア | 3分の2 | イ | 2.5 | ウ | 0.10 |

中学校理科その26 問題8(3)は、(ア)～(ウ)の中に当てはまる正しい語句の組み合わせを一つ選ぶ問題で、正答は選択肢⑥としていましたが、受験者の指摘にあるように地球の表面の約71.1%は水でおおわれているという根拠となる資料もあるので、⑤～⑧3分の2(約66.7%)、①～④4分の3(約75%)のどちらとも言えないため、問題として不適切であったと判断しました。

(3) 対象受験者の人数

30人

(4) 解答について

当該問題については、(ア)は、全員正解とし、(イ)及び(ウ)の解答により②または⑥を正解とする。

(別添)

3 中学校教科専門「家庭科」について

(1) 概要

問題の再点検を実施したところ、2026年5月 20 日(水曜日)に問題作成者から根拠としていた資料の他に、解答になり得る資料があるとの報告がありました。確認したところ、問題として不適切であることが判明しました。

(2) 当該教科及び問題等

令9 (中) 家庭 その 6/19

15 和食について、以下の問いに答えなさい。

(4) 次の文章を読んで正しいものを、次の①～④の中から一つ選んで答えなさい。解答番号は26。

東京の大学に通うAさんは、さまざまな都道府県出身の友達があり、それぞれの郷土料理について教えてもらうことにしました。

- ① 長野県出身のBさんの話「長野はからしれんこんが有名だよ。ごはんを食べるとおいしいよ。」
- ② 和歌山県出身のCさんの話「和歌山は柿の葉寿司が有名だよ。お寿司が柿の葉で包まれているんだよ。」
- ③ 石川県出身のDさんの話「石川は、治部煮が有名だよ。江戸時代にうまれた料理だよ。」
- ④ 新潟県出身のEさんの話「新潟はいも煮が有名だよ。寒い時には体があつたまるよ。」

中学校家庭その6 問題 15(4)は、①～④の中から、正しいものを一つ選ぶ問題で、正答は③としていました。教科書では奈良県の郷土料理と記載されていた②の柿の葉寿司は、和歌山県でも郷土料理もあるので、問題として不適切であったと判断しました。

(3) 対象受験者の人数

1人

(4) 解答について

当該問題については、②または③を正答とする。

4 対応について

- (1) 対象者となる受験者には、電子メールにて概要及び対応を連絡しました。
- (2) 第1次選考試験の結果発表は、予定どおり2026年6月8日(月曜日)に行います。

5 今後の対策について

- (1) 問題作成時、点検時に複数の根拠資料について問題作成者以外で点検する体制を教科いたします。
- (2) 令和10年度(令和9年度実施)については、教員採用第一次試験共同実施により作成する共通問題を使用するため、確認体制等の検討を進め、問題の制度を高めてまいります。